

【日時】2018年1月10日（水）

【場所】5C216

【出席】総数 75 定則 38 出席 32 遅刻 2 早退 0

【資料確認】

配付資料一覧

- ・ 17046 『議事次第』
- ・ 17047 『第六回本会議議事内容報告書』
- ・ 17048 『学園祭準備委員会発足の報告』
- ・ 17049 『平成 30 年度学園祭実行委員会委員長・副委員長の任命について』
- ・ 参考資料 1 『学園祭実行委員会委員長団選挙議事録』
- ・ 17050 『学園祭学生分担金の額及び納入方法について』

【資料訂正】

議題②に関する資料 17043 『2018 年度監察役選出についての報告』において資料訂正があった。

誤：参考資料 正：参考資料 1

【会議内容】

今回の第五回意見聴取会では以下の議題を扱った。

議題①：学園祭準備委員会発足の報告

議題②：平成 30 年度学園祭実行委員会委員長・副委員長の任命について

議題③：学園祭学生分担金の額及び納入方法について

以下、学園祭実行委員会を学実委と表記する。

≪議題①：学園祭準備委員会発足の報告≫

≪議題②：平成 30 年度学園祭実行委員会委員長・副委員長の任命について≫

学内行事委員会委員長・楊が説明を行った。議題①、②は類似した内容であるため同時に審議を行う。資料番号 17048 を参照。学園祭準備委員会発足の報告。資料番号 17049 を参照。12 月 8 日学実委の会議で以下の 3 人が委員長団として選出された。参考資料 1 も参照。説明を 2017 年度議長・鈴見が行った。学実委は、年度が変わるまでは学園祭準備委員会という名目で毎年活動を行っている。また、議題①と②は今回同時に審議を行うが、来週の

本会議で行われる議決に関しては別々にとる。

<質疑応答>

補足：本日は選出された委員長団は欠席であるが、来週の本会議では所信表明を行ってもらう予定である。(学内行事委員会委員長・楊)

2017 年度議長・鈴見が説明を行った。来週の本会議では参考人として委員長陣にも来てもらい審議・議決を行う。

≪議題③：学園祭学生分担金の額及び納入方法について≫

学内行事委員会委員長・楊が説明を行った。資料番号 17050 を参照。学園祭学生分担金とは、学実委の予算の中で学生が払うお金である。金額と納入方法について昨年度から変更はない。

質問：表現について。記載の内容は納入「方法」ではないように思う。入学して最初に学実委が学園祭について説明するオリエンテーションの際に徴収されたお金であると思うのだが、そのように納入の流れについて詳しく記載すべきではないか。(人文学類・刑部)

回答：次回のミーティングにおいて検討する。(学内行事委員会委員長・楊)

質問：学園祭に関する申し合わせを把握していないのでよくわからないが、納入金に対する徴収権力・根拠といったものは存在するのか。(生物学類・冨田)

回答：徴収者は学実委である。納入しないことによるペナルティは課されない。義務的に徴収を行っている。その場で徴収できなかったものは後日回収という点において拘束力があると言えるかと思う。(新入生歓迎特別委員会委員長・石川)

補足：学園祭に関する申し合わせ第 4 条を読み上げる。「学生分担金の額及び納入方法は、学園祭実行委員会の意見を参考に。全代会がこれを決定する。」(学内行事委員会委員長・楊)

質問：表現の問題だが、納入ではなく徴収ではないか。納入とは税金にしか使わない言葉である。(社会学類・秋田)

回答：次回のミーティングにおいて検討する。(学内行事委員会委員長・楊)

質問：まず、徴収額が去年と同じ 600 円である理由。在籍予定年数分について医学以外は原則 4 年と考えられていると思うが、休学や留年を考慮せず、無条件に在籍予定年数分で徴収することについての考えを知りたい。また、大学院生から徴収しない理由を知りたい。(物理学類・鈴見)

回答：600 円にした理由だが、学実委の委員長団と話し合った結果、今年度 600 円で徴収して問題がなかったとのことであったためである。そのほかの質問については次回回答する。(学内行事委員会委員長・楊)

意見：途中で退学した場合に返金はあるのか学実委に確認しておいてほしい。(社会学類・

秋田)

意見：先ほど 600 円にした理由を聞いたが、今年度と来年度の開催の内容の差異まで考慮して据え置きにしたのか否かを知りたい。学生分担金以外にも協賛などでお金を集めていると思うが、その見込みなどについても学実委内で話し合ってもらいたい。(物理学類・鈴見)

意見：入学者のうちに大学院生が含まれないのであれば、学部入学者という文言を入れるべきではないか。(生物学類・猪瀬)

回答：次回のミーティングにおいて検討する。(学内行事委員会委員長・楊)

質問：入学してきた当初、オリエンテーションで急に支払えといわれたので面食らった。事前予告をするべきではないか。検討しているのか確認しておいてほしい。(社会学類・秋田)

意見：その周知については、ITF.バッグの中に徴収する旨を記載した書類が入っているの問題はないように思う。(比較文化学類・三浦)

意見：それは知っているが、新歓パンフレットを郵送する際など、入学以前に知らせるべきである。入学して急に 2400 円を準備するのは難しい。また、ペナルティがないなら支払い拒否はできるのか。(社会学類・秋田)

回答：特に定められていないため、できる。(新入生歓迎特別委員会委員長・石川)

質問：参考資料 1 の議事録の内容がよくわからない。正式な議題を通すための参考資料なので、体裁を整えてほしい。(人文学類・刑部)

回答：議事録の作成は学実委内で行っており、赤入れは行っていない。来年度以降は体裁を整えてもらうように伝える。(学内行事委員会・三浦)

補足：この資料は参考として添付しているものである。ほかにも審議を行う上で必要であると考えられるものは来週用意したい。そういった意見も出してほしい。(2017 年度議長・鈴見)

2017 年度議長・鈴見が説明を行った。

以上の議題については来週の本会議にて審議する。保留した質問については来週の議題の頭に回答してほしい。

【委員会報告】

* 2017 年度議長団

- ・ 学長懇準備を行った。出席を出してほしい。
- ・ クラス制度の変更について大学側の会議に関わる予定。
- ・ 現状の学実委との関係を見直すために、委員長・副委員長・大学側との話し合いを行った。内容としては、全代会と学実委で話し合った内容を学生生活課・生活支援室の方に伝え、OK をもらった。何が決まったかという点、学実委を、単年度組織ではなく、常設の委員会にするという点。来週本件に関する特別委員会立ち上げの議題を提出する。

- * 総務委員会
 - ・ 会議準備
 - ・ 紙資料のスキャンを開始した。
- * 学内行事委員会
 - ・ 学組連の議題を話し合った。
 - ・ 総括の赤入れを行った。
- * 教育環境委員会
 - ・ 年末年始だったので特に活動なし。
- * 生活環境委員会
 - ・ 昨日のミーティングで今後の流れを確認した。
 - ・ 委員長推薦を行い、議決を行う予定。
- * 調査委員会
 - ・ アンケートの回答数が少なく、集計できていない。slack の#for_res のチャンネルに入って1, 2年は同期に共有してほしい。
- * 広報委員会
 - ・ 215号執筆中。
- * 新歓特別委員会
 - ・ 第3回新歓ネットに向けて準備中。
 - ・ 学内行事委員会財務担当と協力して新歓援助金手続きの補佐を行っている。

以上